

体験格差解消を目指す
水辺の自然体験の推進事業

2019年度 事業報告書

2020年 3月
B&G財団 企画課

○目的・実施背景

子供の頃の自然体験活動は、興味や意欲、自尊感情の向上などのほか、学力にも良い影響があるだけでなく、青年期や成人期の自己肯定感にまで影響を及ぼすことが最新の研究で明らかとなっている。一方で、障害児や児童養護施設の子供たちは、身体的や家庭的な理由で体験の機会が少ない状況にあり、「体験格差」が指摘されている。この「体験格差」の解消を図るため、全国に設置した B&G 海洋センター・クラブにおいて、困難な状況にある子どもたちを対象に、カヌーや SUP をはじめとする海洋性レクリエーションのほか、水遊びを中心とした活動機会を提供し、水に親しむきっかけを作る。

○実施内容

期間 : 2019 年 6 月～10 月

内容 : 水に不慣れな子供たちでも楽しめる水辺のレクリエーション器材の支援
およびレクリエーション器材を活用した水辺の体験会の実施

助成額 : 150,000 円 / 1 海洋センター

対象経費 : 水辺のレクリエーション器材の購入に限る

実施カ所 : 30 海洋センター・クラブ

参加者 : 2,324 人 (子供 1,192 人、大人 1,132 人)

表 「実施箇所一覧 30 箇所」

| NO | 県名 | 自治体名 | 実施日 | 子供 | 大人 | 障害種別 | 対象団体 |
|----|------|--------------------------|-----------------------|-----|-----|------|----------------------------------|
| 1 | 北海道 | 石狩市 海洋センター | 8/22 | 23 | 13 | 知的 | 特別支援学級 |
| 2 | 北海道 | 大樹町 海洋センター | 8/1・8/2 | 28 | 8 | | 児童養護施設 |
| 3 | 青森県 | 弘前市 海洋センター | 6/23・6/30・7/21 | 18 | 52 | 精神的 | 市内の障害児 |
| 4 | 秋田県 | 由利本荘市西目 海洋センター | 8/28・8/29 | 36 | 35 | 知的 | 特別支援学校 |
| 5 | 茨城県 | 竜ヶ崎市 USC 海洋クラブ | 6/23・7/20 8/10・9/8 | 137 | 8 | 知的 | 市内の障害者 |
| 6 | 茨城県 | 土浦海洋クラブ | 10/13 | 52 | 319 | 身体的 | 市内の障害者 |
| 7 | 神奈川県 | HONKIuniversity 海洋クラブ | 6/8・6/21 8/1・8/24 | 50 | 46 | 知的 | 県肢体不自由児協会 障害者デイサービス 特別支援学校 |
| 8 | 富山県 | 南砺市福野 海洋センター | 8/7・8/17・8/29 | 63 | 29 | 知的 | 放課後デイサービス |

| | | | | | | | |
|----|-----|--------------------|---------------------------|----|----|-----------|------------------------------------|
| 9 | 富山県 | 富山市八尾 海洋センター | コロナの為、延期。 | 0 | 0 | | |
| 10 | 山梨県 | 南アルプス市白根 海洋センター | 7/24・7/31 10/19 | 30 | 18 | 知的 | 放課後デイサービス |
| 11 | 長野県 | 大町市 海洋センター | 8/5 | 24 | 8 | | 第三の居場所（貧困） |
| 12 | 静岡県 | 御前崎市 海洋センター | 7/11・8/3・8/31 | 45 | 54 | 知的 | 市内の障害児 |
| 13 | 愛知県 | 新城市作手 海洋センター | 8/20 | 30 | 15 | 知的 | 特別支援学級 |
| 14 | 愛知県 | なごや海洋クラブ | 8/3・8/4・8/10 | 33 | 53 | 知的 | 児童福祉施設 |
| 15 | 三重県 | かわげ海洋クラブ | 9/28・10/26 | 3 | 42 | 身体的 | 市内の障害者 |
| 16 | 兵庫県 | 伊丹海洋クラブ | 7/17・7/21 | 44 | 14 | 知的 | 特別支援学級 |
| 17 | 島根県 | 江津市桜江 海洋センター | 7/4・9/25 | 18 | 13 | 知的 不登校 | 特別支援学校 教育支援センター |
| 18 | 島根県 | 浜田市三隅 海洋センター | 10/27 | 30 | 32 | 知的 | 特別支援学校 2校 |
| 19 | 山口県 | 周防大島町 海洋センター | 8/27～29・9/16 | 58 | 38 | 知的 | 放課後等デイサービス 総合型地域スポーツクラブ |
| 20 | 徳島県 | 高松市国分寺 海洋センター | 5/25・7/24・9/23 | 62 | 24 | 知的 | 市内の障害児 児童養護施設 |
| 21 | 香川県 | 小豆島町内海 海洋センター | 7/28 | 16 | 16 | 知的 身体的 | 特別支援学校 |
| 22 | 香川県 | 池田海洋クラブ | 8/3 | 30 | 38 | 身体的 | 日本ブラインドサッカー協会 |
| 23 | 愛媛県 | 松山市中島 海洋センター | 8/29 | 24 | 12 | | 児童養護施設 |
| 24 | 福岡県 | 築上町築城 海洋センター | 8/4 | 30 | 0 | 知的 身体的 | 町内の障害者 |
| 25 | 佐賀県 | 太良町 海洋センター | 7/18 | 32 | 10 | 知的 | 特別支援学校 |
| 26 | 長崎県 | 南島原市加津佐 海洋センター | 2019/8/3 | 17 | 19 | 知的 | 障害者自立支援施設 |
| 27 | 熊本県 | 玉名市岱明 海洋センター | 6/30・7/7・7/6 7/14・7/15 | 61 | 28 | 知的 | 障害児デイサービス 障害児スポーツ支援団体 特別支援学級 |

| | | | | | | | |
|----|------|---------------|-------------------------------------|------|------|-----------|--------------------------------|
| 28 | 宮崎県 | トトロ海洋クラブ | 7/15・7/30 7/31・8/7 8/11・8/12 | 128 | 139 | 知的 身体的 | 児童クラブ 2クラブ 市内の障害児 |
| 29 | 鹿児島県 | 錦江湾海洋クラブ | 7/21・7/24 8/10・8/27 9/13・9/14 | 51 | 36 | 知的 | 子育て支援団体 障害児デイサービス 児童養護施設 |
| 30 | 鹿児島県 | 長島町 海洋センター | 7/26・8/5 | 19 | 13 | 児童養護 | 児童養護施設 |
| | | | 合計人数 | 1192 | 1132 | | |

○体験会のプログラム

◆新たな水辺のレクリエーション器材を用いた活動例

・水上マット体験

・BIG SUP 体験



・水上トランポリン、スライダー

・アクアロール



・浮き島

・アクアボール



◆既存の器材を用いた活動

・カヌー体験

・SUP体験



○まとめ

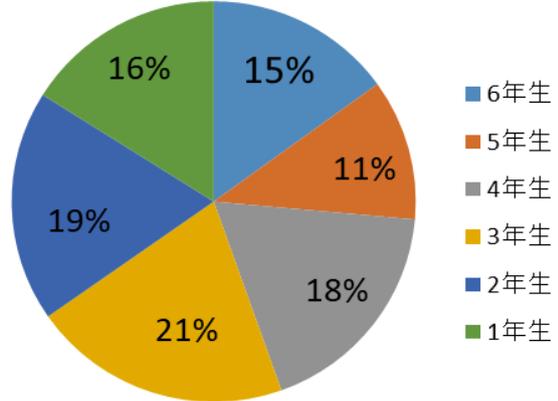
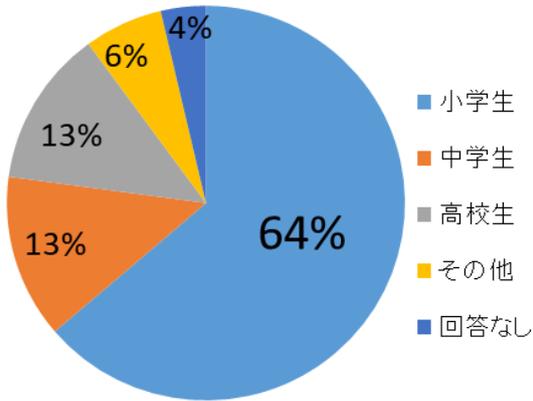
30ヵ所の海洋センター・クラブを支援したことで、身体的・家庭的に困難な状況にある子供たち1,192人に水辺の自然体験機会を提供することができた。また、今年度、参加した子供たちが属する団体は、デイサービスや児童養護施設、特別支援学級・学校、障害者自立支援団体など多岐に渡り、昨年度よりさらに多くの福祉関係者1,132人に海洋センターと海洋性レクリエーションに関する理解を促進できた。

体験会では写真のような水辺の遊びを主としたプログラムを計画および実施した。併せて体験に関する満足度や、過去の活動などに関するアンケートを行った。参加者のうち、過去に水辺の体験の機会が無い子供たちは66%も存在する。一方で、参加者の94%が、また参加したいと回答しており、水辺の体験会を切望し、子供たちの体験機会が奪われている状況にあり、継続的に体験機会を提供することで、格差解消を図る必要がある。

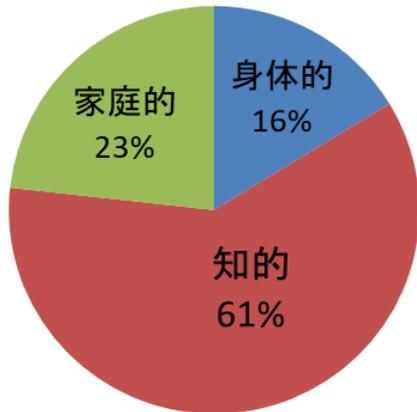
そのため、引き続き、多くの海洋センター・クラブと、水辺の活動及び指導に秀でた指導者、そしてその橋渡しとなる当財団でなりたつB&Gネットワークを生かし、水辺の多様な自然体験機会を子どもたちへ提供する体験格差解消に取り組んでいく。

○集計データ

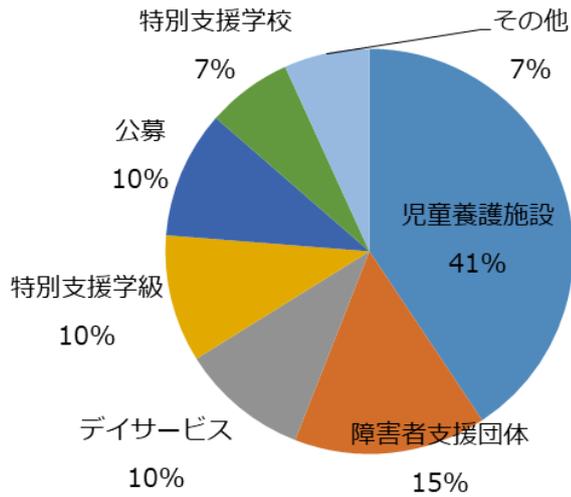
1. 参加者の割合



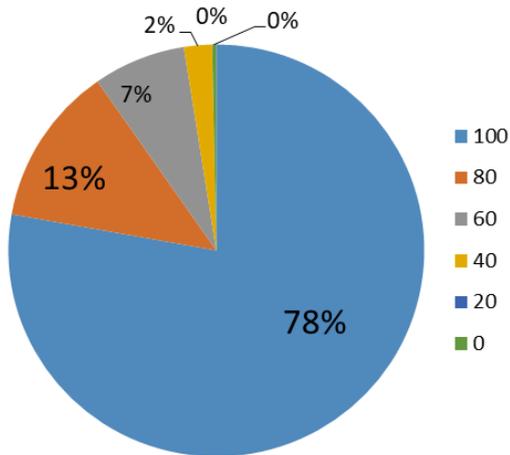
2. 参加者の抱える困難



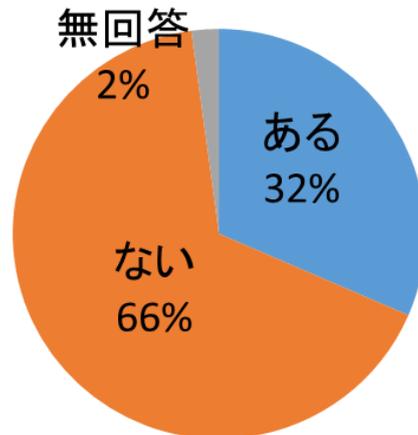
3. 参加グループ



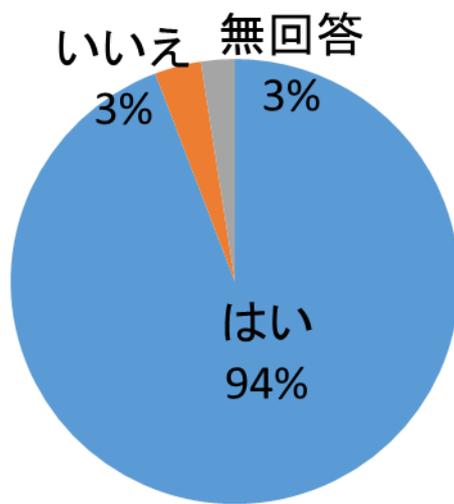
4. 満足度



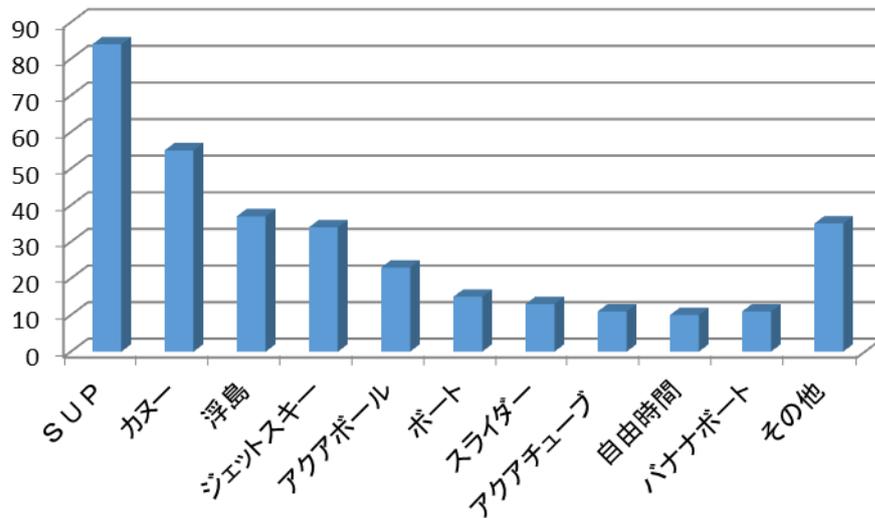
5. 過去の水辺の体験機会



6. また参加したいか



7. 最も楽しかった活動



以上